
「海の生き物を守る会」メールマガジン No. 78

2011.5.1 (日)



Association for Protection of Marine Communities (AMCo)

Homepage : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

「今日の海の生き物 カツオノカンムリ *Veleva veleva* Linneus

熱帯から亜熱帯の大洋の表面に漂う生活をする刺胞動物門ヒドロ虫綱ギンクラゲ科に属する群体クラゲ類の一種。黒潮海域に多く見られる。しばしばカツオの群れと同時に見られることから、この名前が付いた。円盤状の水平板の上に三角の帆を持ち、風の力で移動することができる。水平板は鮮やかな青色を呈している。台風の後など風の強いときに沖合から流されて海岸に多数が流れ着くことがある。体の下には触手があり、刺されると激しく痛む。北半球と南半球では卓越風の方向が逆になるのに合わせて、帆の角度が逆にな



っている。群体性であることから、クダクラゲ類と考えられてきたが、生殖個体として小さなクラゲを作ることから、最近の研究では花クラゲ類とされている。

(種子島にて
向井 宏撮影)

目次 「今月の海の生き物」 カツオノカンムリ

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース
2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報
3. きらめく動物たちの命と海 久保田信の白浜だより（その5）
4. 事務局便り
5. 編集後記

●東日本大震災で壊滅した

南三陸町自然環境活用センターの復旧のために

「海の生き物を守る会」も利用させていただくなど、この地方で積極的に海の生き物を守り、親しむ活動を続けてこられた南三陸町自然環境活用センターが大津波の被害でほぼ全壊しました。職員の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。現在までの情報によりますと、南三陸町では、活用センターの復旧については現在の状況では考慮できる状態にならないということで、活用センターは廃止され、職員の皆様の多くは別の部署に配置換えになっているようです。

「海の生き物を守る会」では、将来、南三陸町自然環境活用センターの復旧をお願いするために、支援金を募集しております。賛同していただけるかたは、海の生き物を守る会の口座（「うみひるも」の最後のページ参照）にお志のご送金をお願いいたします。いくらでも結構です。寄付される場合は hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp にメールにて金額と日付をお知らせください。すでに多くの善意が届いておりますが 更なるご協力をお願いする次第です。とりあえず5月6日で一度締め切りたいと思います。よろしくご協力のほどお願いいたします。

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース

【国際】

●クジラを絶滅から救うために 石油プラットホーム開発の中止を

ロシアは、サハリン島沖の石油とガス・プラットホームの開発を計画しているが、ここはニシコククジラという絶滅危惧種のクジラが生息しているところで、開発計画によってニシコククジラが絶滅することが心配されている。WWFなどの国際的なNGO連合では、ニシコククジラの保護のために、このプロジェクトへの懸念を表明し、ロシア政府に声明書を提出した。このプロジェクトの計画には、シェル、ガスピロム、三井物産、三菱商事な

どの共同企業体が加わっている。

ニシコクヅラは、現在の生存数が 130 頭前後と推定され、サハリン島のビルトゥン湾周辺を餌場として利用しており、サハリン II プロジェクトがこの湾で実施されれば、その影響は劇的になると予想されている。声明では、サハリンエナジー社は、このプロジェクトが海洋環境とそこに生息する絶滅危惧種に損害を与えないようにする法的、社会的、倫理的責任があると述べており、ロシア政府はこのプロジェクトが適切な環境リスクアセスメントを行っていないために反対すべきであると指摘している。

【全国】

●グリーンピース「虹の戦士号」が海洋放射能調査へ

福島第一原子力発電所から高濃度の放射性物質を含んだ水が海に放出されたことを巡って、日本政府に海の放射能調査を任しておけないと、国際 NGO のグリーンピースが船「虹の戦士号（555 トン）」を使って、福島原発の周辺海域で調査を日本政府に申請していたが、このたび日本政府から「虹の戦士号」の船籍国であるオランダ政府に、調査許可が下りた。しかし、調査は領海外（沖合約 22km 以遠）で行うことという条件がつけられた。これでは、海洋生物や海洋環境への放射能の影響について効果的な調査ができないとして、グリーンピースでは、東京湾沖に虹の戦士号を停泊させて、許可条件の再考を求めている。

調査を予定しているのは、海水、底質、魚や海藻、貝類などの生き物のサンプリングを広範囲に行い、放射能汚染の測定と核種分析。グリーンピースでは、日本政府が許可を出したことについては評価しているが、領海外だけでは効果的な調査ができないため、領海内を含めた国際的な協力体制をとって調査を行うことが必要だと訴えている。

【北海道】

●24時間体制で監視 倶知安でイトウの繁殖を確認

昨年北海道倶知安町では、20 年ぶりに絶滅危惧種の魚イトウの自然繁殖が確認された。今年も尻別川の支流で繁殖が確認されたため、保護活動を行っている「オビラメの会」では、ボランティアによる 24 時間体制でイトウの監視を行うこととした。密漁を防止するのが主な目的。釣り人に釣りを自粛するように呼びかけも行う。

●オロロン鳥、音で呼び寄せ

北海道日本海側の天売島は、多様な海鳥の繁殖地として有名だが、かつて多数が生息していたウミガラス（オロロン鳥）はほとんど絶滅寸前である。環境省羽幌自然保護官事務所は、ウミガラスを鳴き声で呼び寄せる音声装置を島内の 2 ヶ所に設置して、ウミガラスを呼び寄せ、営巣・繁殖につなげたいと考えている。音声装置はウミガラスの鳴き声を流し続ける仕組み。デコイ（模型）も設置しており、ウミガラスの習性を利用して、個体群の復活に向けて取り組んでいる。昨年は 18 羽のウミガラスが飛来して抱卵・孵化したが、オ

オセグロカモメやハシブトガラスなどによって襲われ、雛が巣立ちできなかった。今年はライフルでカモメやカラスの駆除を行う予定。

●種ガキ 関東以西からの導入を断念 厚岸湖の養殖ガキ

3.11の津波によって半数以上の養殖カキ筏が流された厚岸湖では、種ガキの購入先である松島湾のカキ養殖が津波でほぼ全滅状態ということから、種ガキの購入先を広島や九州などに変更することを検討していたが、厚岸漁協はその後、西日本からの種苗導入をしないことを決定した。北海道とは水温や環境がかなり異なる西日本の種ガキを導入することによる成育の遅れや新しい病気の発生が懸念されることから、専門家の間でも西日本の導入に反対する意見が出たことから、この決定になった。厚岸漁協では、地元産の種苗（かきえもん）の増産を検討していくとしている。また、北海道としてもその方向性で道内の養殖関係業界を指導していくことになった。安易な他の地方からの移入は外来種の侵入などを招きやすく、その地方の生態系を攪乱する恐れもあるため、水産資源の人為的導入には、慎重さが求められていることから、この方向性は大いに評価できる。

【東北】

●高田松原壊滅の中 奇跡の1本残る

東北・太平洋沖大地震の津波で、岩手県陸前高田市の名勝「高田松原」の数万本の松がほとんどすべて流失する中で、奇跡的に1本だけ生き残った。地震前には350年前から約2kmにわたって松が植えられた防潮林で、白砂青松の地として国の名勝にも指定されてきた。短い夏の海水浴にも多くの人たちに利用されてきた砂浜海岸だった。1本だけ残った松に、地元の被災者たちは「街を復興に導く象徴だ」として、今後松林の復元を期待している。

●青森県佐井にコウノトリ 日本最北の記録

兵庫県豊岡市にある県立コウノトリの郷公園から放鳥された特別天然記念物のコウノトリのうちの一羽が、4月20日から青森県佐井村の休耕田などで見られている。2歳のメスで、豊岡市で放された後、福井県越前市で長く滞在していたのが知られており、地元では「えっちゃん」の愛称で親しまれた。その後、宮城県丸森町に現れた後、今度は青森県にやってきた。青森県では過去にコウノトリの記録はなく、日本で最北の記録となる。

●水中ロボットで震災の海底探査 日米合同チーム

東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県南三陸町と岩手県陸前高田市で、水中ロボットを使った海底の調査が行われた。実施したのは、長岡技術科学大学の木村哲也准教授ほか「国際レスキューシステム研究機構」の10名の研究者による日米合同チーム。南三陸町と陸前高田市の要請により5日間にわたって漁港の海底を探査し、遺体の捜索や海底の状態を調べ、漁港の再開のための資料とした。

【関東】

●「潮干狩りどうする？」 沿岸自治体も苦慮

例年多くの潮干狩り客で賑わう茨城県内の海岸は、今年は東日本震災の津波被害があり、さらに福島第一原発の事故が収束していない状態では、人出は少なく、盛り上がらない。大洗町から神栖市までハマグリやホッキガイなどの潮干狩りができる沿岸の自治体も観光PRに悩んでいる。大洗町ではまだ津波による瓦礫の片付けを行っているし、福島第一原発の放射能汚染水の影響も心配されており、町も「なるべくならご遠慮いただきたい」と消極的である。鹿嶋市は「震災ゴミが漂着しているため、サーフィンも含めて浜に立ち入れる状況ではない」としている。一方、銚田市の大竹海岸では、例年行っているハマグリを放流して潮干狩りをしてもらう有料のイベント「はまぐり祭り」を今年も計画している。例年だと一万人くらいが参加するが今年はどうなるだろうか。茨城県の鹿島海岸はチョウセンハマグリの漁業が盛んで、全国でももっとも多い。いまのところ、茨城県のチョウセンハマグリからは放射線物質が検出されているが、その濃度は暫定規制値以下である。

●魚介類 9 種で放射性物質を検出 再びコウナゴに高濃度汚染

福島第一原発の事故で放射性汚染水の放出があった影響が、茨城県沿岸の魚介類に現れている。その結果、現在、茨城県沿岸では漁業が自粛されている。茨城県では、4月25日に調査船を使って採取した9種の魚介類の分析を行った結果、放射性ヨウ素および放射性セシウムを検出したが、食品衛生法の暫定基準値は下回っていた。分析したのは、アカガレイ、ヤナギダコ、マダラ、マダイ、ホッキガイ、アカエイ、スズキ、ヌマガレイ、マイワシ。放射性ヨウ素は0~14ベクレル/kg、放射性セシウムは0~41ベクレル/kgであった。

一方、これらとは別に北茨城沖で採取したコウナゴからは、汚染水放水直後に高濃度の放射性物質が検出されて以来減少していた濃度が、再び上昇、放射性セシウムの暫定基準値を大幅に超えた。

●大地震で三番瀬の海底が変動

「三番瀬市民調査の会」が、東北太平洋沖地震の影響を見るために、東京湾奥三番瀬の猫実川河口域を調査した。その結果、猫実川河口のカキ礁周辺の泥干潟が減少、また、浦安市日の出地区沖では、泥干潟が出現しなかった。どちらも震災前には広範な泥干潟が見られたところ。一方、三番瀬を東西に分ける市川航路から東側には大量の砂がたまっているという報道があり、三番瀬の海底はかなり変動し、地形も変わったと考えられた。

【東海】

●「佐鳴湖浄化」活動、7年間の記録発行 静岡大

静岡県浜松市の佐鳴湖は、2003年に全国の湖沼で水質が最悪という評価を受けた。その後、静岡大学工学部の研究チーム「静岡大学アメニティ佐鳴湖プロジェクト」が、佐鳴湖の水質浄化を目指して活動を始めた。その後、CODやリン、窒素などの濃度の動向を監視するなどして、汚濁メカニズムの解明や浄化対策を提言するなどの活動に取り組んできた。今回、これまでの水質調査のデータや活動記録、研究成果などを含めた活動報告書をA4版360ページにまとめた。研究者や市内の図書館などに配布するが、希望者にも発送する。問い合わせは、戸田三津夫静岡大学研究室（053-478-1146）。

【近畿】

●「海と里の大学」 町民の手で独立運営へ すさみ町

農水省からの補助によって開講していた和歌山県すさみ町の体験事業「海と里の大学」が、今年4月から町民らの手による独立運営として続けられることになった。すさみ町や商工会、観光協会、JA紀南、漁協などをつくる「都市と農産漁村交流事業推進委員会」が、都会の人たちにすさみ町の自然と農漁村の生活を体験してもらい、将来的に定住人口を増やす目的で開講してきた。基礎講座や選択講座、さらに修士講座を作り、町民ら約90人が講師となって、さまざまな体験を用意した。たとえば、ケンケンカツオ漁、昼イカ漁、マダイ、イサキ釣り、アオリイカ釣りなどの漁業体験、林業体験やこの地方独特のサンマずし作りなど。これまで90回開講し、和歌山県内や大阪府から延べ1470人が参加し、中には町内への移住を検討する人も多かったという。農水省の補助が無くなる今年4月からは、町民の手による自主的な取り組みとして開講していく予定である。

【中四国】

●「エビとカニの水族館」 自主運営後初の移動水族館

和歌山県すさみ町の「エビとカニの水族館」は、町からの運営委託金が打ち切られるため、今年3月末で閉館する予定だったが、利用者などから存続を望む声が多く、1年間をメドに自主運営をしていくことになった。4月から手始めに、岡山市で「エビとカニの移動水族館」を実施している（5月9日まで）。岡山県総合展示場「コンベックス岡山」で、移動水族館「青い海の水族園」を開催。森館長は「今回は日本最大級の移動水族館だが、要望があれば小規模なものも実施したい」と話している。岡山市での移動水族館は、昨年が続いて2回目。昨年は18日間で6万5千人を動員したことから、全国でも注目されてきた。今年は岡山に続いて、鳥取県境港市、広島県福山市などでも予定されている。一方、和歌山県田辺市では、田辺市扇ヶ浜への誘致を考えている。

●住民の訴え棄却 漁港埋め立て地を企業に無償使用

香川県東かがわ市が、漁港埋め立て地に企業を誘致するために漁協に無償で企業に土地使用を認めさせ、市が漁協に補償費を支払ったことは、違法な公金支出であるとして住民が

ループが訴えていた裁判で、高松地裁は、27日、住民側の訴えを退け、支払い手続きに違法性はないとする判決を言い渡した。住民側は「無償使用の成立自体が大きな疑問」としている。漁港の埋め立て許可はいったい誰のためにされたのだろうか。そして、埋め立てられて死に絶えた海の生き物は、無駄死にだったのか。

●伊方原発周辺のホンダワラから放射性ヨウ素検出

愛媛県は、伊方原発の近くの愛媛県伊方町九町越沖から採取した海藻ホンダワラから、放射性ヨウ素 131 を検出したと発表した。濃度は、0.95 ベクレル/kg で食品衛生法の海藻の暫定規制値 2000 ベクレルからはかなり低かった。愛媛県によると伊方原発の排水からはヨウ素 131 を検出していないため、福島第一原発の事故の影響と分析している。しかし、福島沖の水が流れ込んでいるとは考えにくい。なんでも福島第一原発の事故のせいにはしないで、伊方原発からの漏洩も十分検証するべきである。チェルノブイリ事故の時に、ドイツの原発がチェルノブイリ事故のせいにして汚染水を放出したことがあるが、そのようなことは絶対に許すべきではない。

【九州】

●紫川下流 シロウオ20万匹以上が遡上

福岡県北九州市小倉北区の紫川下流域では、毎年春にハゼ科魚類のシロウオが川を遡り、産卵する。シロウオは海水域で成長し、3~5月に成熟した魚が川を遡り、川底の石などに長さ 3mm 程度の卵を塊にして産む。小倉市内を流れる紫川では、水質汚染によって 1960年代に姿を消したが、その後の水質改善によって再び出現し、毎年春には産卵が確認されている。今年も「北九州市環境整備協会」が産卵状況の調査を行い、約 20 万匹が川を遡り産卵したと推定した。ほぼ例年通りだった。水質も比較的良好と発表した。

●鹿島ガタリンピック 開催に踏み切る

有明海の干潟でさまざまな競技を行う「ガタリンピック」は、佐賀県鹿島市の七浦海浜スポーツ公園で毎年開かれている。今年は大津波が東日本を襲った直後でもあり、実施するかどうか検討されてきたが、実行委員会は、「自然の怖さを心にとめつつ、自然の恵みも感じて元気に行いたい」と5月29日からの実施に踏み切った。競技は5人一組で潟スキーなどを行う「ガタ複合リレー」など個人・団体の11種目で、約1700人の参加者を募集している。果たして干潟の恵みを感じる「ガタリンピック」になっているのだろうか。

●枇榔島のカムリウミスズメ保護へ

最近、山口県長島付近で観察されている国の天然記念物カムリウミスズメの最大の繁殖地として知られる宮崎県の枇榔島で、日本海鳥グループ（綿貫豊北海道大学教授）による個体数調査が行われた。調査結果はまだ分析が終わっていないが、地元門川町では、調査

結果を保護対策につなげたいと期待している。

【沖縄】

●泡瀬沖埋め立て 8月に工事再開か

公金支出差し止め訴訟判決により工事が一時中断している沖縄市の泡瀬沖埋め立て工事（東部海浜開発事業）について、事業者の内閣府と沖縄県は、当初の計画の埋め立て面積を半減し、埋め立て地の用途変更をした新たな公有水面埋め立て計画を港湾管理者の沖縄県に提出した。県の計画を県が審査するというおかしな審査を経て、3～4ヶ月後に計画が承認される見通しとなった。干潟に生息する希少動物のトカゲハゼの産卵期が終わる8月以降に工事が再開される予定である。埋め立て面積の半減とは、2期工事を中止したことによるもので、1期工事はほぼ予定通り完成させる。2期工事を中止したことにより、新たに護岸工事が必要になったところがあり、総事業費はむしろ増加し、392億円となった。

2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報

【国際】

●アジア湿地シンポジウム in サバ, 2011年5月1日

期日:2011年7月18日~20日

場所:コタキナバル (マレーシア、サバ州)

<http://www.awssabah.com.my/index.php>



ASIAN WETLAND SYMPOSIUM (AWS) SABAH 2011

KOTA KINABALU, SABAH, MALAYSIA (18-20 JULY 2011)

【東北】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 会津若松

日時:2011年5月3日(火曜日)

場所:福島県会津若松市西栄町 8-36 (地図) 若松栄町教会/会津若松市西栄町 8-36

【プログラム】調整中

【参加費】おとな 1000円

【主催】ピースウォークプロジェクト 【問合せ先】サカイ/080-5557-5407

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in いわき市

日時：2011年5月4日(水曜日)12:10開場/第1回上映12:35/監督トーク15:00/第2回上映16:00

場所：福島県いわき市平字5-15-1(地図) burrows (バロウズ) /いわき市平字5-15-1

【参加費】大人1000円/学生...主催者にお問い合わせ下さい

【主催】三函座リバープロジェクト実行委員会

【問合せ先】burrows (バロウズ) /0246-24-7772

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in いわき市

日時：2011年5月5日(木曜日)12:50開場/第1回上映13:15/第2回上映16:00

場所：福島県いわき市平字5-15-1(地図) burrows (バロウズ) /いわき市平字5-15-1

【参加費】大人1000円/学生...主催者にお問い合わせ下さい

【主催】三函座リバープロジェクト実行委員会

【問合せ先】burrows (バロウズ) /0246-24-7772

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 秋田市保戸野金砂町

日時：2011年5月6日(金曜日)第1回上映14:00/第2回上映18:30

会場：あきこうまえ茶屋/秋田市保戸野金砂町2-37

【参加費】1000円(第1回...お菓子と飲み物込/第2回...油ソバと飲み物込)

【主催】環境と暮らしを考える集い

【問合せ先】ムトウ/070-5479-8506/ konohanamoko@yahoo.co.jp

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 秋田市中通

日時：2011年5月9日(月曜日)上映18:30

場所：秋田県秋田市中通2-1-48(地図) 地球食堂ボノボ/秋田市中通2-1-48

【参加費】1500円(特製定食込) *会場がひろくないので要予約先着順。

【主催】環境と暮らしを考える集い

【問合せ先】ムトウ/070-5479-8506/ konohanamoko@yahoo.co.jp

【WEB】<http://ameblo.jp/minnanoie1008/>

「ぶんぶん通信 no.2」上映会 in 秋田市中通

日時：2011年5月12日(木曜日)上映18:30

場所：秋田県秋田市中通2-1-48(地図) 地球食堂ボノボ/秋田市中通2-1-48

【参加費】1500円(特製定食込) *会場がひろくないので要予約先着順。

【主催】環境と暮らしを考える集い

【問合せ先】ムトウ／070-5479-8506／ konohanamoko@yahoo.co.jp

【WEB】 <http://ameblo.jp/minnanoi1008/>

「ぶんぶん通信 no.2」上映会 in 秋田市保戸野金砂町

日時：2011年5月13日（金曜日）第1回上映 14:00／第2回上映 18:30

場所：秋田県秋田市保戸野金砂町 2-37 ([地図](#))あきこうまえ茶屋／秋田市保戸野金砂町 2-37

【参加費】1000円（第1回...お菓子と飲み物込／第2回...油ソバと飲み物込）

【主催】環境と暮らしを考える集い

【問合せ先】ムトウ／070-5479-8506／ konohanamoko@yahoo.co.jp

「ぶんぶん通信 no.3」上映会 in 秋田市中通

日時：2011年5月15日（日曜日）

場所：秋田県秋田市中通 2-1-48 ([地図](#)) 地球食堂ボノボ／秋田市中通 2-1-48

【参加費】1500円（特製定食込）＊会場がひろくないので要予約先着順。

【主催】環境と暮らしを考える集い

【問合せ先】ムトウ／070-5479-8506／ konohanamoko@yahoo.co.jp

【WEB】 <http://ameblo.jp/minnanoi1008/>

【関東】

● エコライフフェア「湿地の恵み展」の参加団体を募集します。

6月4日～5日、代々木公園で「エコライフ・フェア」（環境省主催）が開催されます。今年もラムサールセンター（RCJ）、日本国際湿地保全連合（WIJ）、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議は共催でブースを出展します。今年度はラムサール条約締結40周年記念であり、「ラムサール条約40周年記念 湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産展」として、出展を企画して、「湿地のワイズユース」を積極的に実施する各地域の取り組みや、各湿地にある観光・物産などを、首都圏や全国にPRする機会として利用してください。昨年の入場者数は約6万人でした。

趣旨にご賛同いただき、参加いただける団体を募集しています。開催の詳細は、下記の参加案内をご覧ください。参加の申込みは、「参加申込書」を、実行委員会事務局の日本国際湿地保全連合までお申し込みください。申込み締切日は、**5月11日（水）**です。

[イベント詳細](#)

[参加申込書](#)

●OWS 第59回海のトークセッション

「うみのいえ～海底のゴミから見えてくるもの～」

ゲストスピーカー：大塚幸彦（水中写真家・日本写真家協会会員）

※震災の影響で延期になっていた日程が決まりましたので再募集です。

「海に潜り始めて、33年になりました。その間、海底環境の変化とそれに伴う数多くの海底の生き物たちの営みを見てきました。私は今、大都会に近い海である西伊豆と、大都会のど真ん中であるお台場の海にベースを置いて、撮影活動を続けています。ゴミ、公害、環境問題……。これらを眉間にしわを寄せて難しく語るのではなく、小さな子供から年配の方まで楽しみながら感じていただける写真が盛りだくさん。ぜひお楽しみください。」（大塚幸彦）

開催日 2011年5月17日（火）19：00～20：30（18：30受付開始）

会場 モンベル渋谷店 5F サロン

渋谷区宇田川町11-5 モンベル渋谷ビル

参加費 OWSメンバー：500円／非会員：800円

申込み OWS事務局までお申込みください。

⇒ <http://www.ows-npo.org/activity/ts/index.html#ts59>



大塚 幸彦（おおつか ゆきひこ）プロフィール

1958年 山口県に生まれる。'78年大学在学中にダイビングと水中写真を始める。以後は独学で水中写真を学び、伊豆の海をベースに世界各国の海で海洋生物の生態を写真に記録。最近はライフワークとして「海洋環境」ジャンルの写真を精力的に発表している。「海底からのメッセージ」「氷の妖精」「ハーブシールの海」「タテゴトアザラシの可愛さに魅せられて」「イノチとモノのゆくすえ」「イノチと海の物語」など多くの写真展や個展を開催。

●クリーンアップ かまくら 2011



●ビーチクリーンアップ by ほのぼのビーチ茅ヶ崎

日時：2011年5月1日(日曜日) 9時00分～10時00分

場所：ヘッドランドビーチ

小雨・強風・砂浜がウエットな場合は中止

問い合わせ：090-8305-8877

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 江戸川区 ～震災被災者支援チャリティ上映会メイシネマ祭 '11

日時：2011年5月3日(火曜日) 開場 17:00 / 上映 17:30

場所：東京都江戸川区東小岩 6-15-2 (地図) 小岩コミュニティホール / 江戸川区東小岩 6-15-2

【参加費】1回...大人・大・高生 1000円(内義援金200円) / 小・中学生 500円(内義援金100円)

【主催】メイシネマ上映会 【問合せ先】藤崎 / 03-3659-0179

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+鎌仲監督トーク in 蕨

日時：2011年5月7日(土曜日) (夜の部前半に監督トーク予定)

会場：昼の部...蕨市立中央公民館 1F 集会室(蕨市中央 4-21-29) / 夜の部...蕨市立文化ホール くるる(蕨市中央 1-23-8)

【参加費】1000円 【主催】蕨市社会教育関係団体カルチャーショックわらび

【問合せ先】仲内 / 048-444-3176 / okera@kna.biglobe.ne.jp

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 宇都宮

日時：2011年5月3日(火曜日) 上映 13:30

場所：栃木県宇都宮市中央 1-1-3 (地図) 宇都宮市中央市民活動センター304 視聴覚室 / 宇都宮市中央 1-1-3

【参加費】600円 【主催】ミツバチの会 【問合せ先】中山 / 090-7634-4948

「ぶんぶん通信 no.1~3」上映会 in 葉山

日時：2011年5月3日(火曜日)～5日(木曜日) 開場 14:30 / 上映 15:00

場所：神奈川県三浦郡葉山町上山口 1431-1 (地図) スターホーム(株)本社 / 葉山町上山口 1431-1

【参加費】500円 【主催】スターホーム(株)

【問合せ先】 [星/046-876-6776/hiro@star-home.co.jp](mailto:hiro@star-home.co.jp)

「ぶんぶん通信 no.1」上映会+鎌仲監督トーク in 渋谷 ~クロスロードビル、春の文化祭

日時：2011年5月7日(土曜日) 開場 13:00 / 上映 14:00

場所：東京都渋谷区松濤 1-29-1 ([地図](#))SARAVAH 東京 / 渋谷区松濤 1-29-1 クロスロードビル B1

【参加費】 1400円 【WEB】 <http://www.saravah.jp/tokyo/> 【主催】 SARAVAH 東京

【問合せ先】 03-6427-8886 / contact@saravah.jp

「ぶんぶん通信 no.1~3」上映会+ヨガクラス in 八王子

日時：2011年5月14日(土曜日) 17:00 開場 / 17:30 「ぶんぶん通信 no.1」 上映 / 18:

50 「ぶんぶん通信 no.2」 上映 / 20:00 「ぶんぶん通信 no.3」 上映

場所：東京都八王子市南町 5-6 サンビュー南町 304 ([地図](#))タクトエイト / 八王子市南町 5-6
サンビュー南町 304

【参加費】 1200円 【主催】 タクトエイト

【問合せ先】 中村尚人 / 042-626-3077 / bmrakt8@gmail.com

● 瀬瀬あや監督作品 映画「祝の島」上映予定

日時	場所	会場	問合せ先
5月3日(火) 19:20~	東京都 中野区	ポレポレ東中野 特集「25年目のチェ ルノブイリ」	03-3371-0088 (ポレポレ東中野)
5月4日(水) 14:00~	山梨県 南アルプス市	生涯学習センターあ やめホール	055-282-3885 (九条の会・深沢)
5月5日(木・祝) 17:00~	熊本県 水俣市	海辺の家	info★neroli-hana.com 096-372-8284 (NPO 法人)

			くまもとレインボープロジェクト 森田)
5月8日(日) 13:00~2回上映	長野県 諏訪郡	富士見コミュニティ プラザ	0266-62-7900 (上條)
5月14日(土) 18:20~	京都府 京都市	ひと・まち交流館 京 都	090-2359-9278 (松本)
5月14日(土) 19:00~	神奈川県 藤沢市	ecomomo	0466-36-7383 (土屋) ecomomo_ahhha★miwa-land.co.jp
5月14日(土) 19:30~	東京都 世田谷区	カフェおはな	090-4090-6002 (にっしい劇場)
5月15日(日) 16:00~	東京都 千代田区	楽道庵	hourinoshima.110515 ★ gmail.com (ベジカ 鈴木)
5月21日(土) 14:00~	東京都 三鷹市	明星学園高校 会議 室	090-3064-5563 (明星学園中学校内 川手)
6月4日(土) 19:00~	神奈川県 相模原市	杜のホールはしもと 多目的室	042-760-3066 (市川)

【東海】

●第44回 味わって知る わたしたちの海

日時：5月12日

(木) 10:30～

13:30

場所：昭和生涯学習センター（名古屋市）

参加費：1500円

(材料費、講習費、保険料)

募集定員：24名

持ち物：エプロン

主催：なごや環境

大学共育講座

第44回 味わって知る わたしたちの海

日時:5月12日(木)10:30～13:30 定員24名
会場:昭和生涯学習センター(地下鉄桜通線御器所駅より徒歩5分)
参加費:1500円(材料費・講習費・保険料) 持ち物:エプロン

愛知県の海でとれたコウナゴとアシタバの天井、、その他コウナゴの釘煮。タイラギなど貝のお刺身を作って食べます。

講師
愛知県漁業生産研究所 研究員
髙崎 直文さん

今回のテーマはマリンエコラベルの認証を受けた愛知県のコウナゴ漁です。東北地方の原発事故による風評被害から地元漁業を守るためにわたしたちが今できることをいっしょに考えませんか？
申し込み:090-3852-9468(大矢)

なごや環境大学共育講座
山崎川グリーンマップ 伊勢・三河湾流域ネットワーク

●第5回 親子で味わって知る表浜

2011年6月4日(土) 10:00～13:00

食べながら魚の骨をとってみよう～家でもできる魚類学～と魚の捌き方同時開催

子どもを対象に魚の骨学習と魚の捌き方を学びます。是非、親子で参加して下さい。

場所：JA 愛知みなみ赤羽根支店裏 生活会館

● スケジュール：

10:00～12:00 魚の骨学習（子ども）

講師：(独) 水産大学校の須田有輔教授

10:00～12:00 魚の捌き方と地元野菜を使った料理教室（大人）

講師：小川 史氏

12:00～13:00 食事と魚の話

定員：子ども 30 人（対象：小学校中学年以上） 大人 30 人

料金：大人 1 人子ども 1 人（1,500 円） 大人 1 人子ども 2 人（2,000 円）

お申し込み：office@omotehama.org か、TEL 0532-21-1192 までお願いします。

●名古屋港水族館 海辺の生物観察会

自然の海岸で、身近な海の生き物たちの暮らしを観察してみませんか？

※荒天時は野外での観察を中止し、希望者に水族館でのバックヤードツアーを行う予定です（入館料のみ必要）。

第 1 回 探検！潮だまりの世界 磯の生き物たち

平成 23 年 5 月 21 日（土）

場所：知多半島 豊浜海岸周辺

応募締切：平成 23 年 5 月 7 日(土)必着

●海の自然史研究会 COSIA

「科学コミュニケーション実践講座（COS）」の中のひとつ COSIA（コシア Communicating Ocean Science to Informal Audiences）の体験ワークショップを行います。COSIA は、科学館や水族館などインフォーマルな学習の場で海洋科学について伝えていくために、科学の本質、教授と学習の理論、質問の投げかけ方、物の活用の仕方、誰でも参加できるアクティビティのデザインなどについて学ぶ 10 のセッションからなる講座です。今回は、講座全体のコンテンツとコンセプトを理解していただくことを主な目的として 3 日間のワークショップを実施します。海洋教育、科学コミュニケーション、インフォーマル教育等に関心をお持ちの皆様の参加をお待ちしています。

※COS はカリフォルニア大学で開発された海洋科学を教える技術のスキルアップ講座で、海研では、カリフォルニア大学との契約に基づき、これを翻訳し日本での普及を進めています。詳細は[コチラ](#)をご覧ください。

日 時：2011 年 5 月 27 日（金）12：00～5/29（日）14：00

場 所：[生命（いのち）の海科学館](#)

（〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17 JR、名鉄蒲郡駅下車徒歩 3 分）

主 催：NPO 法人 海の自然史研究所

共 催：生命（いのち）の海科学館（予定）

対 象：科学コミュニケーションや海洋科学教育の実践に興味をお持ちの方

参加費：無料

申込方法：事前申込が必要です。フォームに記入の上、メールに添付してお送りください。

その他：

- 3日間のワークショップですが、宿泊は含んでいません。宿泊が必要な方は各自で手配してください。
- 本ワークショップでは1から10までのセッションを3日間かけて体験していただきますので通しで参加できることが望ましいのですが、どうしても3日間は参加できないという方は1日または2日の参加申し込みもお受けします。参加申込書にその旨を記載してください。- このワークショップは、日本財団の助成を受けて開催します。

問い合わせ及び申込書送付先： NPO 法人海の自然史研究所 TEL：098-936-2722

担当：今宮 noriko@marinelearning.org

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+田中良明氏講演 in 豊橋市

日時：2011年5月15日（日曜日）第1回上映 10:30 / 田中良明氏（愛知大学教授）のお話 12:50~13:20 / 第2回上映 14:00 / 田中良明氏のお話と質疑応答 16:30~17:30 / 第3回上映 18:00

場所：愛知県豊橋市向山大池町 20-1 ([地図](#)) 豊橋市民文化会館 / 豊橋市向山大池町 20-1

【参加費】1000円 / 中高生 500円

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」上映実行委員会

【問合せ先】伊東 / 080-3073-9003 / tinga-tinga@softbank.ne.jp

【東海・中部】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 中野市 ~原子力発電にたよらない未来を考える

日時：2011年5月7日（土曜日）開場 18:30 / 上映 19:00

場所：長野県中野市赤岩 1447 ([地図](#)) 中野市北部公民館 / 中野市赤岩 1447

【参加費】主催者にお問い合わせください

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」を上映する会

【問合せ先】柴垣 / 090-9669-4433 / email@sibagaki.com

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん no.1」上映会 in 新潟市

日時：2011年5月3日（火曜日）~5日（木曜日）開場 10:00 / 上映（調整中）

会場：万代アースフェスタ / 万代シティ特設会場

【参加費】主催者に問い合わせ下さい 【主催】マリールゥ

【問合せ先】025-228-0470 / cafe.marilou@gmail.com

「ぶんぶん通信 no.2」上映会 in 上越市

日時：2011年5月8日（日曜日）開場 13:30 / 上映 14:00

場所：新潟県上越市仲町 3-4-9 ([地図](#)) 雁木亭 / 上越市仲町 3-4-9

【参加費】500円 【主催】雁木亭

【問合せ先】エイジマ / 080-3191-9945 / k_eijima1977@ezweb.ne.jp

【近畿】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 西宮

日時：2011年5月5日（木曜日）

場所：兵庫県西宮市若松町 6-18 ameen's oven / 西宮市若松町 6-18 ヴィラドコアン 1F

【参加費】調整中

【主催】ameen' oven 【問合せ先】三島 / 0798-70-8485 / yumyum@ameensoven.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 神戸

日時：2011年5月13日（金曜日）開場 18:30 / 上映 19:00

場所：兵庫県神戸市東灘区中町 1-7-22 ([地図](#)) ミドリカフェ / 東灘区中町 1-7-22

【参加】事前予約制 1800円（ワンドリンク & 「原発に依存しない新エネルギーと共に生きる」をテーマにしたセミナー＋講演含む）

【予約】ミドリカフェ / 078-412-7214 【主催】アース・ビジョン in 神戸 実行委員会

【共催】岡本ハッピーバトン、アース・ビジョン組織委員会

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋鎌仲監督トーク in 京都市

日時：2011年5月15日（日曜日）

場所：京都府京都市左京区岩倉大鷲町 89 ([地図](#)) 開場 9:30 / 上映 10:00

【会場】同志社中学校・高等学校 宿志館 魁ホール / 京都市左京区岩倉大鷲町 89 /

<http://www.js.doshisha.ac.jp/jhs/access.html>

【参加費】1000円（要予約） 【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」上映実行委員会

【問合せ先】財団法人とよなか国際交流協会 [06-6843-4343](tel:06-6843-4343) /

toyonakakokuryu@tcct.zaq.ne.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会＋鎌仲監督トーク in 豊中市

日時：2011年5月15日（日曜日）

場所：大阪府豊中市玉井町 1-1-1 ([地図](#)) 財団法人とよなか国際交流協会 会議室 / 大阪府豊中市玉井町 1-1-1-601（エトレ豊中 6階）

★定員に達したため、予約受付終了しました★

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1～no.3」上映会+みんなでトーク in 京都市

日時：2011年5月15日（日曜日）開場 12:30 / 「ぶんぶん通信 no.1」上映 13:00 / 「ぶんぶん通信 no.2」上映 14:20 / 「ぶんぶん通信 no.3」上映 15:30 / みんなでトーク・原発なき社会をつくろう 16:30

場所：京都府京都市下京区河原町五条下ル東側 ([地図](#)) ひとまち交流館京都 / 京都市下京区河原町五条下ル東側

【参加費】1500円 【主催】ドキュメンタリー・フィルム・ライブラリー

【問合せ先】又川 / 075-344-2371 / matagawa@cb3.so-net.ne.jp

【中四国】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 三次市

日時：2011年5月15日（日曜日）第1回 10:00 / 第2回 13:30 / 第3回 16:20

場所：広島県三次市三次町 1828-5 ([地図](#)) 三次ふれあい館 / 三次市三次町 1828-5

【参加費】1000円 【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」三次上映実行委員会

【問合せ先】オダケ / 0824-63-8042 / odake@orange.ocn.ne.jp

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1, no.2」上映会 in 大田市

日時：2011年5月16日（月曜日）13:20 「ぶんぶん通信 no.1」上映 / 15:00 「ぶんぶん通信」no.2 上映

場所：島根県大田市三瓶町志学 349 ([地図](#)) ドマカフェギャラリー / 大田市三瓶町志学 349

【参加費】1000円 【主催】持続可能な未来へ go! go! プロジェクト

【問合せ先】中村 / 080-1635-1845 / n-nori-1225@docomo.ne.jp

【WEB】<http://ameblo.jp/zizokugogo>

【九州】

●屋久島 2011 ウミガメ観察会

場所：屋久島町 永田前浜、永田いなか浜

開催期間：2011年5月15日～7月31日

開催時間：午後8時30分～午後11時

（受付時間は午後8時～午後8時30分まで。受付時間を越えますと受付できませんので、必ず時間内にお越しください） 1日80名 **予約制**

※完全予約制になっています。当日直接お越しいただいても、参加できない場合がございますのでご

了承下さい。

※観察会の予約は、別記の[観察会予約連絡先](#)までご連絡ください。予約を済まれた方は、下記の時間に観察会場までお越しください。

受付時間：午後8時～午後8時30分

集合場所：[永田いなか浜](#)

※観察会は野外で開催されますので、雨具（風が強いのでカッパがおすすめ）をお持ち下さい

1. 午後8時30分から、永田いなか浜にて事前レクチャー（ウミガメの生態や観察方法についての説明）を行った後、ウミガメの上陸が確認されてから、係員が浜へご案内いたします。観察時間については、その日の条件によって長時間待機していただく場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

2. 観察者には記念品（ウミガメの絵はがき）を差し上げます。

3. 予約をされていない方は、当日お越しいただいてもウミガメ観察会には参加出来ない場合があります。必ず事前にご予約下さい。

4. ウミガメは自然のものです。産卵を観察できない時もあることを十分にご理解の上、観察会にご参加下さい。

永田浜（前浜・いなか浜）に上陸するウミガメの保護と、砂浜周辺の清掃活動等に掛る経費の一部として、観察に来られる皆さんに、協力金を拠出していただくことになっております。

協力金：大人700円、高校生500円、中学生以下無料

団体割引（15名以上）500円

永田ウミガメ連絡協議会 TEL：090-8768-4281 FAX：0997-45-2484 時間：午後1時～午後5時

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+再生可能エネルギーシンポジウム in 福岡市

日時：2011年5月14日（土曜日）開場12:30／上映13:00

場所：福岡県福岡市早良区百道 2-3-15 ([地図](#))ももちパレス小ホール／福岡市早良区百道 2-3-15

【参加費】1500円（要予約）／中学生以下料金...主催者にお問い合わせください

【併催企画】上関原発を建てさせない祝島島民の会代表・山戸貞夫さん講演／自然エネルギーの利用について～株式会社エコテック代表取締役林敏秋／意見交換会

【主催】株式会社エコテック 【問合せ先】岡／092-738-5040／fukuoka@ecotech.net

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 串良町 ★鹿児島県リレー上映会

日時：2011年5月8日（日曜日）開場9:30／第1回上映10:00／第2回上映14:00

場所：鹿児島県鹿屋市串良町上小原 4939-6 ([地図](#))ギャラリーやねだん

【参加費】1000円 【主催】ミツバチおおすみ

【問合せ先】下田／099-473-3487／info@shantihtown.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 鹿児島市 ★鹿児島県リレー上映会

日時：2011年5月14日（土曜日）第1回上映 10:00／第2回上映 14:00

場所：鹿児島県鹿児島市山下町 14-50 (地図)かごしま県民交流センター大研修室4／鹿児島市山下町 14-50

【参加費】1000円 【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」上映実行委員会

【問合せ先】090-3016-0074／ ogawa-m@oregano.ocn.ne.jp

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 福岡市

日時：2011年5月8日（日曜日）開場 14:00／上映 14:30

場所：福岡県福岡市東区箱崎 1-36-35 (地図) アジアンラティエノ 2F Space AL／

【参加費】600円 【問合せ先】谷岡／090-9609-1698／ pink-pastel-ocean@ezweb.ne.jp

【沖縄】

●『ひがたのいきものモビールづくり』

泡瀬干潟博物館カフェ 「ウミエラ館」オープン



母の日に手作りプレゼントをおくろう！

ひがたのいきもの モビールづくり

泡瀬干潟いきもの観察会

時間：pm1:00～pm3:00

ひがたのいきものモビールづくり

時間：pm3:00～pm4:00

場所：泡瀬干潟 ウミエラ館
(沖縄市泡瀬 3-47-1)

電話：098-927-0116

参加費：500円 (ドリンク付・材料費込)

定員：20名



※パーキング等は電話でお尋ねください。

泡瀬干潟ウミエラ館ブログ：<http://umierakan.ti-da.net/e3316253.html>

★5/7(土)GWイベント決定！！

★

母の日に手作りプレゼントを贈ろう！

POKKE104 presents 定員20名！参加費500円 (ドリンク付)

※材料はこちらで準備しま

す！手ぶらで参加OK！※駐車場はお問い合わせ下さい。

3. きらめく動物たちの命と海 【久保田信の白浜だより(その5)】

昨今、地球温暖化とあいまって南方系の生物たちが白浜沿岸にもしばしば出現するようになってきた。社会的問題ともされるのが、イシサンゴ類が主食のオニヒトデで、以前だと沖縄方面にいかないと遭遇できなかったサンゴ礁域に生息する種だが、驚くべきことに白浜沿岸でもかなり頻繁に見られるようになり、駆除の対象にまでなってしまった。まさに環境変化の証の1つである。

第5話 和歌山県南部海域で増えるオニヒトデ

連続した台風接近の影響から、2004年8月15日に、北浜では珍しいオニヒトデの死骸を発見した。かなり傷んでいて腐臭がするほどだった。中心部の盤の大きさが約4cmほどで、腕が15本あった。飼育下では、生後1年ほどで盤径が8cmに成長するとのことなので、この個体はごく若い個体である。キヒトデやアカヒトデなど普通のヒトデ類と違い、オニヒトデの腕の数は一定していないようだ。体の背面全体に針の山の様に生えている有毒な棘は鋭く、見るからに痛々しい。

(1) 紀伊半島でのオニヒトデの出現

1970年ごろから紀伊半島沿岸でもオニヒトデが多数出現した記録があり、串本町やすみ町では1000個体以上が駆除されたという。1988年以降は例外的な少数個体の捕獲記録を除き、オニヒトデの出現がばったり途絶えていたが、最近、増加し始めている。田名瀬英朋さんが、南部町堺港で水揚げされる漁獲物から、色々なサイズのオニヒトデを次々と発見し、克明な記録を続けている。また、白浜町のダイビングサービスMiss Oceanのスタッフも白浜町沿岸で採取して実験所に届けて下さった。これらの一部は瀬戸臨海実験所水族館で飼育展示し、成長記録をつけている。興味のある方は来館してほしい。また、ごく最近、元職員の檜山嘉郎さんが富田浜の打ち上げ物の中から発見された。昨年にも盤が10cm余りの成体が北浜に打ち上がって、紀伊民報のニュースにもなった。

白浜町沿岸への過去のオニヒトデの出現について、1959年から1997年までの記録を田名瀬英朋さんとともに南紀生物誌39巻にまとめた(田名瀬・久保田, 1997)。意外なことに、本州沿岸へのオニヒトデ出現記録は、白浜沖で初めてなされていた。比較的大形で、腕長15cmの個体が、1959年2月に、田辺湾沖の瀬戸ヶ瀬でのエビ刺し網にかかった記録が、瀬戸臨海実験所元所長の内海富士夫教授により報告されていた。その後の記録はそれから15年を経た1974年11月で、白浜沖でエビ刺し網操業中に捕れた1例である。翌年の1975年の夏から秋にかけて、塔島周辺で26個体が潜水採取された。水深1.5mから直径13cmと15cmの2個体が佐々木賢太郎氏により、24個体が田名瀬英朋さんによって発見

された。これらは、腕の先端から反対側の腕までの長さ（長径）が 4.5cm から 22.2cm までと、色々なサイズのものがあることがわかった。飼育下では 2 年で 20cm に達するとのことなので、冬越した個体もいたことになる。

（2）白浜で 22 年ぶりにオニヒトデ出現

1974 年以後は、オニヒトデの捕獲や発見例はずっとなかったが、1997 年 7 月 3 日、22 年ぶりに筆者が長径 22cm の越冬個体を発見した。この個体は、偶然、田辺湾入り口の塔島の岩礁で採取された。水深 3m 地点にある、小形のみドリイシの一種の上面全体に覆いかぶさっていた。本場の南西諸島での摂食行動は夜なのだが、今回は午後 3 時頃に見られた（田名瀬・久保田, 1997）。



オニヒトデは、田辺湾など和歌山県沿岸に、どこからどのようにやってくるのだろうか。それは、南方系のホンダカラガイと同じ仕組みによる。南西諸島などでオニヒトデの子供時代である浮遊性のビピンナリア幼生が誕生の後、黒潮に乗ってプランクトンとして運ばれて来る。1 シーズンにオニヒトデ 1 個体の雌から生まれる幼生の数は、約 1000 万個と膨大な数なので、本場で生息数が多い時には和歌山県沿岸にも多数流れ寄り、環境さえ整えば越冬し、成長を続けていけるのである。

沖縄諸島以南の太平洋やインド洋の熱帯海域に広く分布するオニヒトデは、珊瑚礁の発達した沖縄島では、1970 年から 1983 年までの 14 年間に、なんと 1300 万個体が駆除された記録がある。この時期には、八重山諸島の石西礁湖でも大発生記録が残っており、1982 年だけでも約 27 万個体を駆除したというすさまじさだ。2004 年 8 月 13 日付の紀伊民報で、串本海中公園センターによる生物調査の結果が掲載され、串本周辺海域では、「オニヒトデがいつ異常発生してもおかしくない状態で、温暖化の影響もあり、監視をかねた駆除活動の継続が必要」と心配する記事が掲載されていた。オニヒトデは、生態系の中で何らかの大事な役割を果たしているのだが、大量発生してしまうと厄介な生き物なので、やはり注意が必要だ。

オニヒトデの天敵はホラガイだが、ホラガイの生息数はそれほど多くなく、乱獲によってその数が減っている。このため、何らかの理由でオニヒトデが大発生してしまうと、圧倒されてしまう。田辺湾周辺では、ホラガイの仲間であるボウシュウボラやオオナルトボラがオニヒトデを食べていると思われるが、その数は激減している。

ヒトデ類は世界に 2000 種ほど知られているが、オニヒトデはたった 1 科 1 属 2 種の小

さな分類群である。最近、有毒の棘の生え方が異なるオニヒトデの近縁種も、紀伊半島沿岸のあちこちで、発見され続けているが、まだ個体数は多くないようだ。(つづく)

田名瀬英朋・久保田信. 1997. 22年間の空白後に出現した和歌山県白浜のオニヒトデ(ヒトデ綱、ヒメヒトデ目). 南紀生物, 39(2): 147-148.

4. 事務局便り：

- この「うみひろも」は「海の生き物を守る会」のメールマガジンです。配信が迷惑と思われる方は事務局までご連絡ください。
- 企画案などその他なんでも本会の活動に関することは、事務局あてにお寄せください。
- このメールマガジンは、毎月1日と16日の2回発行の予定ですが、都合によって遅延や中止もあります。配信を希望する方、送りたい方がありましたらアドレスをお知らせください。また、パソコンを使えない環境の方には印刷体でもお届けします。その場合は、郵送料をご負担していただくことがあります。
- このメールマガジンは転載自由です。海の生き物に関心を持っている方に広く読んでいただくために転送をお願いします。ただし写真を別の目的で使用する場合は事前にご連絡ください。海の生き物や守る運動についての情報など、また各地で行われている海の生物の観察会、研修会、その他の行事に関する情報もお寄せください。「うみひろも」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードできます。
- 本会は自然観察会や講演会を各地で実施しています。各地で開催を希望される方、開催をお手伝いできる方は、ご一報ください。また、各地の団体との共催も行います。ごいっしょに講演会や観察会をしたいと思われる団体からも提案をお受けします。
- 本会への寄付をお寄せください。寄付も会費も同じ銀行口座「ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会」へお送りください。なお、送金される場合は、送金の内容について事務局にお知らせ下さい。

5. 編集後記

福島第一原発の事故が収束しないかぎり、日本のみならず、世界の海の生き物に放射能被害がこれからも半永久的に続くことになる。原発事故は、海に限らず生きとし生けるものにとって、命を危機にさらし続ける。菅内閣の玄葉国家担当相は、「2030年までに原発を14基新設する現行計画はありえない」と述べたが、与謝野経済財政担当相は、「原発は必要である」との姿勢を変えていない。この二人が政府の重点施策の見直しを取りまとめることになっている。原発は見直すが、結局は原発依存の政策が続くという結果になりかねない。そうならないようにするには、人々がしっかり政府の政策を監視することが必要だ。

東北地方の沿岸の復興には、いったいどのような方向が作られるのだろうか。ふたたびコンクリートで海岸を覆い尽くすようなことは、もう意味がないことが理解されたのだから

うか。復興予算を目指して、全国のゼネコン関係者が東北に集合しているという。ゼネコンまかせの復興は、日本の自然を破壊してきたことを忘れてはならない。(宏)

海の生き物を守るためになにかしたい！というあなたに！

会員募集中です！

会員は本会の趣旨に賛同できる個人・団体とします。会費は個人 2,000 円／年、団体 20,000 円／年。匿名による参加も可能です。会員は、当会の名前を使って各地で海の生物とその環境を保護・保全する活動を行うことができ、そのための助成金申請をすることができます。活動は当会の発行するメールマガジンなどを通して広く通知されます。入会希望の方は、事務局 hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp (向井) まで、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。



メールマガジン『うみひろも』第 78 号

2011 年 5 月 1 日発行

発行&編集人「海の生き物を守る会」

代表 向井 宏

〒606-8244 京都市左京区北白川東平井町 23-1

グリーンヒル北白川 23

TEL&FAX:075-703-7205 メールアドレス：hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp

ホームページ URL：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

銀行口座：ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会